

令和8年10月8日

食農学類生が川俣町の苗生産会社「ベルグ福島」で 野菜の苗生産の先端技術を学びます

福島大学食農学類農業生産学コースの3年生は、実践的な活動を通じて、苗生産技術や野菜生産を支える苗の役割について学び、地域農業への関心を深めることを目的に、川俣町の苗生産会社「ベルグ福島株式会社」様を訪問します。当日は、トマトとキュウリの接ぎ木の体験するほか、苗生産の現場を見学します。近年、野菜生産の現場では、担い手不足や省力化への対応などを背景に、農家が苗を自ら生産せず、専門の苗生産会社から購入するケースが増えています。こうした中、高品質な苗を安定的に供給する苗生産会社の役割は、ますます重要になっています。特に「接ぎ木」は、野菜苗の生産において、土壌病害への対策や生育・品質の安定化などにつながる重要な技術です。

ぜひご取材くださいますよう、よろしくお願いいたします。

【参加学生】食農学類農業生産学コース3年生 25名

① 接ぎ木実習

【日時】令和8年10月13日（火）13時～15時頃

【場所】ベルグ福島株式会社（福島県伊達郡川俣町大字羽田字曾利田10-1）

② 施設見学と接ぎ木結果調査

【日時】令和8年10月26日（月）13時～15時頃

【場所】植物ワクチン研究施設（福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字雁ヶ作）、
ベルグ福島株式会社

※本実習は、ベルグ福島株式会社および公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構の支援を受け、川俣町で実施するものです。

※学生による接ぎ木作業の様子をご取材される場合は、実習風景をより詳しくご覧いただける26日を推奨いたします。

※取材をご希望の場合は、下記宛先まで事前にご連絡ください。

担当者が不在の場合がございますので、できる限りメールでのご連絡をお願いいたします。

（お問い合わせ先）

食農学類・教授 深山 陽子

電話：024-504-2830

Mail：y_miyama@agri.fukushima-u.ac.jp